

⑧ 小学校専門教科問題の解答について（注意）

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。（マークシート右上の記入方法を参照）消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「小学校」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入 ア. 小問の解答番号は1から77までの通し番号になっており、例えば、25番を

25

 のように表示してある。
イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

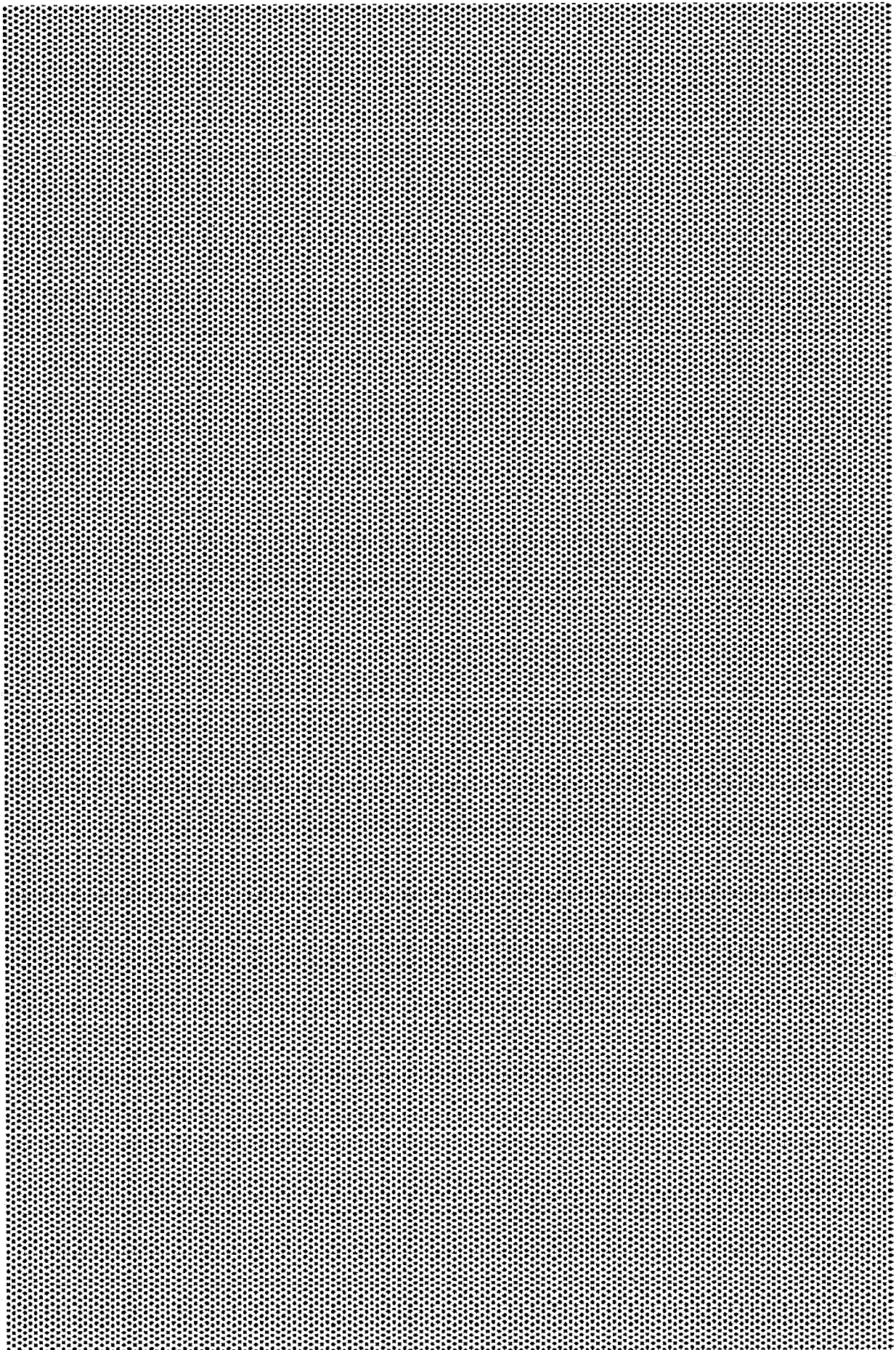
（マークシート記入例）

フリガナ	コウベダロウ
名前	神戸太郎
教科名	小学校

数字で記入……

受験番号				
/	2	3	4	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

小問 番号	解答記入欄 1 - 25	小問 番号	解答記入欄 26 - 50	小問 番号	解答 51
1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編」における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 道徳科の中で道徳的価値の理解のための指導をどのように行うのかは、授業者の意図や工夫によるが、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うには、道徳的価値について理解する学習を欠くことはできない。
- ② 道徳科においては、発達の段階を前提としつつも、指導内容や指導方法について考える上では、個々人としての特性等から捉えられる個人差ではなく、学校全体の課題に配慮して進めることが大切である。
- ③ 主体的な判断に基づいて道徳的实践を行い、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが道徳科の目標である。
- ④ 道徳科の指導の際には、特定の道徳的価値を絶対的なものとして指導したり、本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さを観念的に理解させたりする学習に終始することのないように配慮することが大切である。
- ⑤ 道徳性は、徐々に、しかも着実に養われることによって、潜在的、持続的な作用を行為や人格に及ぼすものであるだけに、長期的展望と綿密な計画に基づいた丹念な指導がなされ、道徳的实践につなげていくことができるようにすることが求められる。

- (2) 次の文は、「小学校(中学校)学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」における「第3章 道徳科の内容」の記述の一部である。(ア)～(エ)にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(小学校)

[節度, 節制]

[第1学年及び第2学年]

(ア) や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。

[第3学年及び第4学年]

自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて(イ)し、節度のある生活をする。

[第5学年及び第6学年]

安全に気を付けることや、(ウ)の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。

(中学校)

[節度, 節制]

望ましい(ウ)を身に付け、心身の(ア)の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で(エ)のある生活をする。

- | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|------|---|----|
| ① | ア | 衛生 | イ | 実行 | ウ | 生活態度 | エ | 規律 |
| ② | ア | 衛生 | イ | 行動 | ウ | 生活習慣 | エ | 調和 |
| ③ | ア | 健康 | イ | 実行 | ウ | 生活習慣 | エ | 規律 |
| ④ | ア | 健康 | イ | 行動 | ウ | 生活習慣 | エ | 調和 |
| ⑤ | ア | 健康 | イ | 実行 | ウ | 生活態度 | エ | 規律 |

- (3) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編」における「第5章 道徳科の評価」に関する記述の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、文中に「児童」とあるのは、中学校・特別支援学校中等部では「生徒」に読み替えなさい。

学習指導要領第3章の第3の4において、「児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を（ア）に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。」と示している。これは、道徳科の評価を行わないとしているのではない。道徳科において養うべき道徳性は、児童の（イ）に関わるものであり、数値などによって（ウ）に評価してはならないことを特に明記したものである。したがって、教師は道徳科においてもこうした点を踏まえ、それぞれの授業における指導のねらいとの関わりにおいて、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を様々な方法で捉えて、個々の児童の成長を促すとともに、それによって自らの指導を評価し、改善に努めることが大切である。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|------|---|-----|
| ① | ア | 継続的 | イ | 人格全体 | ウ | 不用意 |
| ② | ア | 継続的 | イ | 人間性 | ウ | 相対的 |
| ③ | ア | 定期的 | イ | 人格全体 | ウ | 相対的 |
| ④ | ア | 定期的 | イ | 人間性 | ウ | 不用意 |
| ⑤ | ア | 定期的 | イ | 人格全体 | ウ | 不用意 |

【2】 次の問いに答えよ。

- (1) 「小学校学習指導要領」(平成29年3月告示 文部科学省)における「第2章 各教科 第1節 国語」より「第2 各学年の目標及び内容」の「1 目標」に関する事項の一部を示したものである。(ア)～(オ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

第1学年及び第2学年

- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で (ア) 力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。

第3学年及び第4学年

- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で (ア) 力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。

第5学年及び第6学年

- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で (ア) 力を高め、自分の思いや考えを (イ) ことができるようにする。

第1学年及び第2学年

- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする (ウ) を養う。

第3学年及び第4学年

- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、(エ) 読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする (ウ) を養う。

第5学年及び第6学年

- (3) 言葉がもつよさを (オ) するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする (ウ) を養う。

- | | | | | |
|------------|----------|-----------|----------|--------|
| ① (ア) 生きる | (イ) 伝える | (ウ) 資質・能力 | (エ) 進んで | (オ) 実感 |
| ② (ア) 伝え合う | (イ) まとめる | (ウ) 態度 | (エ) 幅広く | (オ) 実感 |
| ③ (ア) 伝え合う | (イ) 伝える | (ウ) 態度 | (エ) 幅広く | (オ) 認識 |
| ④ (ア) 生きる | (イ) 広げる | (ウ) 資質・能力 | (エ) 楽しんで | (オ) 実感 |
| ⑤ (ア) 伝え合う | (イ) 広げる | (ウ) 態度 | (エ) 幅広く | (オ) 認識 |

- (2)「小学校学習指導要領」(平成29年3月告示 文部科学省)における「第2章 各教科 第1節 国語」より「第2 各学年の目標及び内容」の「2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと」に関する事項の一部を抜粋したものである。(ア)～(オ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

説明的な文章

第1学年及び第2学年

ア 時間的な(ア)や事柄の(ア)などを考えながら、(イ)を捉えること。

第3学年及び第4学年

ア (ウ)に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、(エ)を基に捉えること。

第5学年及び第6学年

ア 事実と感想、意見などとの関係を(エ)を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて(オ)を把握すること。

文学的な文章

第1学年及び第2学年

イ 場面の様子や登場人物の行動など、(イ)を捉えること。

第3学年及び第4学年

イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、(エ)を基に捉えること。

第5学年及び第6学年

イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

- | | | | | |
|------------|------------|-------------|--------|-----------|
| ① (ア) 順序 | (イ) 内容の大体 | (ウ) 事例同士の関係 | (エ) 叙述 | (オ) 筆者の主張 |
| ② (ア) 順序 | (イ) 内容の大体 | (ウ) 段落相互の関係 | (エ) 叙述 | (オ) 要旨 |
| ③ (ア) つながり | (イ) 内容の大体 | (ウ) 段落相互の関係 | (エ) 描写 | (オ) 筆者の主張 |
| ④ (ア) 順序 | (イ) 大まかな内容 | (ウ) 段落相互の関係 | (エ) 描写 | (オ) 要旨 |
| ⑤ (ア) つながり | (イ) あらすじ | (ウ) 事例同士の関係 | (エ) 本文 | (オ) 筆者の主張 |

- (3)「小学校学習指導要領」(平成29年3月告示 文部科学省)における「第2章 各教科 第1節 国語」より「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に関する事項の一部を抜粋したものである。(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(7) 低学年においては、第1章総則の第2の4の(1)を踏まえ、他教科等との関連を積極的に図り、(ア)を高めるようにするとともに、幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に、小学校入学当初においては、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、(イ)な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

ウ 第3学年におけるローマ字の指導に当たっては、第5章総合的な学習の時間の第3の2の(3)に示す、コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる(ウ)の基本的な操作を習得し、児童が情報や(ウ)を主体的に選択し活用できるよう配慮することとの関連が図られるようにすること。

- | | | |
|---------------|---------|-------------|
| ① (ア) 指導の効果 | (イ) 意図的 | (ウ) 情報手段 |
| ② (ア) 子どもの主体性 | (イ) 計画的 | (ウ) 情報リテラシー |
| ③ (ア) 指導の効果 | (イ) 弾力的 | (ウ) 情報手段 |
| ④ (ア) 指導の効果 | (イ) 弾力的 | (ウ) 情報教育 |
| ⑤ (ア) 子どもの主体性 | (イ) 意図的 | (ウ) 情報リテラシー |

【3】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から 掲載いたしません。

- (一) 傍線部の「シヨウ」と同じ漢字を使う熟語を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 言語のちがいが、相互理解のシヨウヘキになる。
- ② シヨウネンバを迎える。
- ③ 在庫があるかどうかシヨウカイする。
- ④ 無実をシヨウメイする。
- ⑤ 時代をシヨウチヨウする出来事。

7

- (二) 文中の(ア)、(イ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① (ア) つまり (イ) しかし
- ② (ア) 例えは (イ) このように
- ③ (ア) 例えは (イ) しかし
- ④ (ア) しかし (イ) このように
- ⑤ (ア) つまり (イ) つまり

8

- (三) (I)～(V)のいずれかに次の一文が入る。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

このように想像力を一種のシミュレーション能力として捉えると、自分が王様であることを想像するケースのような空想上のケースだけでなく、現実の状況把握においてもこの能力が働いていると考えることができる。

- ① (I) ② (II) ③ (III) ④ (IV) ⑤ (V)

9

(四) 本文で一貫して述べられていることとして、最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 視覚的イメージ ② 状況認識 ③ 道徳的思考
- ④ 感覚的イメージ ⑤ 想像力

10

(五) 筆者による説明の仕方の工夫として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 敬体表現を用いながら、論展開しており、筆者の考えたことをもとに、参考資料から引用しつつ述べている。
- ② 具体的な例を挙げつつ、常体表現を用いながら論を展開することで、説得力をもたせるとともに、文章にリズムをつくっている。
- ③ 事実としての事例を挙げながら、現代社会の状況と問題点を示している。後半部では、筆者の推論をもとに、今後の社会のあり方について、具体例を挙げながら論を展開している。
- ④ 一つの仮説について反論を述べながら、論展開をしている。また、後半部では、仮定表現を用いながら、現代社会におけるさまざまな場面での生きづらさについて述べている。
- ⑤ 問いと答えの関係を用いながら述べており、筆者の生活経験をもとに考えたことを、双括型の文章構成で論展開している。

11

【4】 次の問いに答えよ。

(一) 「雨具」は、上が訓読み、下が音読みの「湯桶読み」である。次に示す熟語で、同じ湯桶読みとなっている熟語を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 荷物 ② 野原 ③ 都市 ④ 先手 ⑤ 初雪

12

(二) 次に示す漢字と、同じ部首となっている漢字が含まれる文を①～⑤から選び、番号で答えよ。

世の中のり益になる仕事

- ① アキ晴れの一日
- ② 念仏をトナえる
- ③ 家の前で友だちとワかれる
- ④ ムし暑い夜
- ⑤ 新札がリュウ通する

13

- (三) 次の意味に合うことわざを①～⑤から選び、番号で答えよ。

つまらないものでも、ないよりはましであること。

- ① 焼け石に水
- ② うどの大木
- ③ 上手の手から水が漏れる
- ④ 枯れ木も山のにきわい
- ⑤ 無用の長物

14

- (四) 次に示すのは、慣用句とその意味である。空欄に入る適切な語を①～⑤から選び、番号で答えよ。

() が早い (意味：商品などの売れ行きがよい。)

- ① 足 ② 目 ③ 首 ④ 口 ⑤ 手

15

- 【5】 次の問いに答えよ。

- (一) 次に示す俳句の中で、季語が一つでなく、複数用いられているものがある。当てはまる俳句として、適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 菜の花や 月は東に 日は西に 与謝蕪村
- ② 目には青葉 山ほととぎす 初鰹 山口素堂
- ③ 柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺 正岡子規
- ④ 分け入っても 分け入っても 青い山 種田山頭火
- ⑤ 木曾川の 今こそ光れ 渡り鳥 高浜虚子

16

- (二) 次に示す百人一首の中で歌枕の技法が用いられていないのはどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 大江山生野の道の遠ければまだふみも見ず天の橋立 小式部内侍
- ② ちはやぶる神代も聞かず龍田川からくれなるに水くくるとは 在原業平
- ③ 田子の浦ゆうち出でて見れば真白にそ富士の高嶺に雪は降りける 山部赤人
- ④ 春過ぎて夏来たるらし白たへの衣ほしたり天の香具山 持統天皇
- ⑤ あしびきの山鳥の尾のしだり尾の長々し夜をひとりかも寝む 柿本人麻呂

17

- (三) 次は、菅茶山の「冬夜読書」である。傍線部の意味として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

冬夜読書 菅茶山

雪、擁^シ山^ニ堂^ヲ樹影深

檐^ニ鈴^ヲ不^レ動^カ夜沈沈

閑^カ収^メ乱^ニ帙^ヲ思^ハ疑^ハ義^ヲ

一穂青灯万古心

- ① 夜の閑さの中で、人の疑いの目が気になり、心乱れていましたが
- ② 読みたい本を散らした本の中からどこにいつたのかを探すうちに
- ③ あふれる思いがこの読み散らした本たちと同じように
- ④ 読み散らした本を片付けながら読書中の疑問な点を考えていましたが
- ⑤ 夜の閑さのおかげで、疑念の心も収まってきました

【6】 五年一組では、「資料をもとに、考えたことを発表しよう」の学習で、複数の資料を関係づけながら、自分の考えを話し合うために、参考になりそうな資料を持ち寄ることにしました。

- (一) 佐藤さんと、田中さんは、持ち寄られた資料の中から、特に2つの資料に注目しました。
この2つの資料から読み取れるものとして、適切なものを①～⑤から、2つ選び、番号で答えよ。

資料A
輸入品の種類と割合

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

資料B
輸出品の種類と割合

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

- ① 輸入品の割合は1960年から、年々変化しており、その中で、近年減少しているのは、原料品である。この原料品を加工して、輸出しているのだといえる。
- ② 輸出品の割合で年々減少傾向にあるのが、繊維と繊維製品であり、これは、安価で求めやすいものが増えるとともに流通が整備されたためであるといえる。
- ③ 日本は継続的に食料品を輸入しており、その割合は10パーセント前後を推移している。
- ④ 輸出品で多くの割合を占めているのが機械機器である。2000年頃は7割を超えており、近年も5割以上を占めている。
- ⑤ 資源に乏しい日本は、鉱物性燃料などを継続的に輸入する必要がある、その割合は5割を超えている。

19

20

(二) 資料A、資料Bを見た、佐藤さんと田中さんは、それぞれ違った点に着目しました。

佐藤さん



日本の輸出入の相手国や地域について、もう少し詳しく調べたいな。

田中さん



食品の輸出入について、もう少し詳しく調べたいな。

佐藤さんは、図書館司書の先生に相談しながら、さらに資料を集めました。

資料C
日本の輸出入（相手国・地域別、商品別、2022年）

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

佐藤さん



資料Cを見ると、日本の輸出の主になっているのは、（あ）ということがわかるな。
資料Cに載っている国・地域はどれも、を相手とした場合はどのようなものを輸出入しているのだろうか。
よし、資料Dで調べてみよう。

資料D
日本の輸出入（相手国・地域別、商品別、2022年）

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(i) (あ)と に当てはまるものとして、適切な組み合わせを選び、番号で答えよ。

(あ) —

- ① 機械機器 — 輸出額よりも輸入額が多いけれど、輸入額の方が多い国や地域
- ② 鉱物性燃料 — 輸出額が100億円を超えているけれど、100億円以下の国や地域
- ③ 機械機器 — 日本から距離が離れている。日本から距離の近い国や地域
- ④ 鉱物性燃料 — 輸入額が減少傾向にあるけれど、輸入額が増えている国や地域
- ⑤ 機械機器 — 輸入額と輸出額の差が1兆円以下だな。でも、そうでない国や地域

21

(ii) 佐藤さんは、資料Aから資料Dを組み合わせて、発表資料をまとめました。

佐藤さんの主張として、適切なものを選び、番号で答えよ。

- ① 日本の貿易は、サウジアラビアやオーストラリアに対しては輸出が中心であり、アメリカ合衆国や中国、韓国や台湾においては、輸入が中心であるといえる。
- ② 日本の貿易は海外の安価な食料品や原油の輸入が中心となり、輸出は自動車を中心となつて、それは地域に限らず広がりがあるところに特徴がある。
- ③ 日本の貿易は相手国によって、その特徴は異なることが分かる。輸出は自動車や半導体などの機械機器が多いことが特徴的だが、輸入は相手国によって異なっているといえる。
- ④ 日本最大の貿易国は韓国であり、隣の国であるからこそ、文化的なつながりもあるといえる。そのため、今後も韓国と友好関係を結んでいく必要があるといえる。
- ⑤ 日本の貿易の特徴として化学製品が中心となつているところにある。特にサウジアラビアやアメリカ合衆国、オーストラリアへの輸出は多く、その割合は5割を超えている。

22

(iii) 資料Cと資料Dは発表資料の裏付けとして、どんな役割を果たしているか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 輸出と輸入が半円で視覚的に示されており、左右で比較することで、輸出入の傾向を知ることができる。とともに、発表者の考えの客観的データとして説得力を高める役割をしている。
- ② 発表者の興味・関心に基づいた資料のため、イメージしやすいという一方で、客観性という点では乏しさもある。
- ③ 2つの資料が対比的に示されており、継続的に疑問を示す役割を果たしているとともに、経年での変化を捉えることができる。
- ④ 2つの資料が原因と結果の関係でできているため、両者の関係性が捉えやすくなっているとともに、聞き手はその変化を捉えることができる資料になっている。
- ⑤ 2つの資料は聞き手に情報を補足する役割をしており、具体と抽象が表現されているため、説得力がある資料となっている。

23

(iv) 田中さんは、食品の輸出入について調べる中で、日本の食料自給率の低さについて知り、このことを友達にも伝えたいと思いました。

田中さんのメモをもとに、田中さんの発表資料に適切でない資料を1つ選び、番号で答えよ。

田中さんのメモ

24

みんなに伝えたいこと

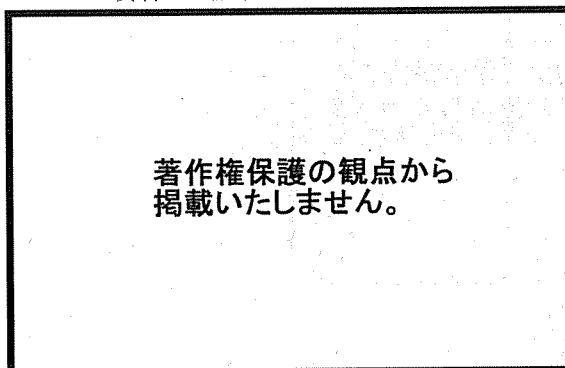
- ・食料自給率とは何か
- ・日本の食料自給率の低さ
- ・私たちの暮らしている食べ物がいかに輸入に頼っているか

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

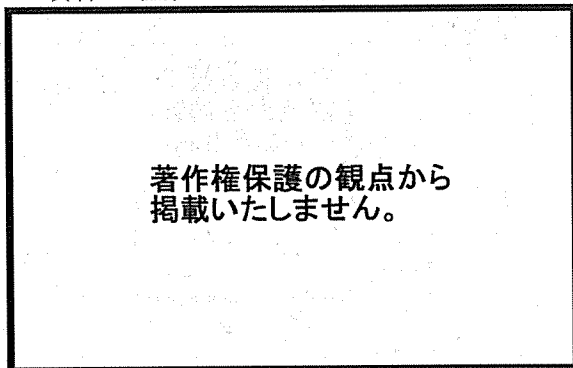
【7】 次の問いに答えよ。

(1) 次の資料1～5は、日本の漁業に関するものである。これらの資料について述べた記述のうちから適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

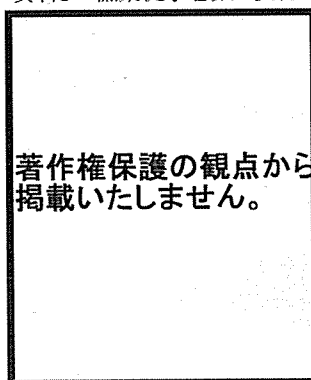
資料1 漁業別生産量の変化



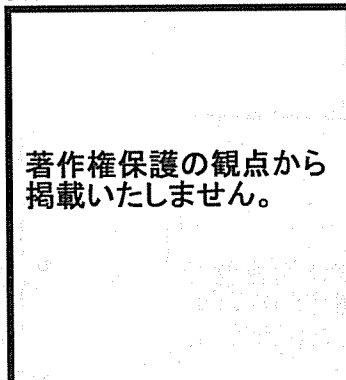
資料2 漁業の生産量・消費量・輸入量の変化



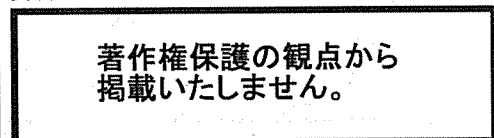
資料3 漁業従事者数の変化



資料4 200 海里水域図と説明

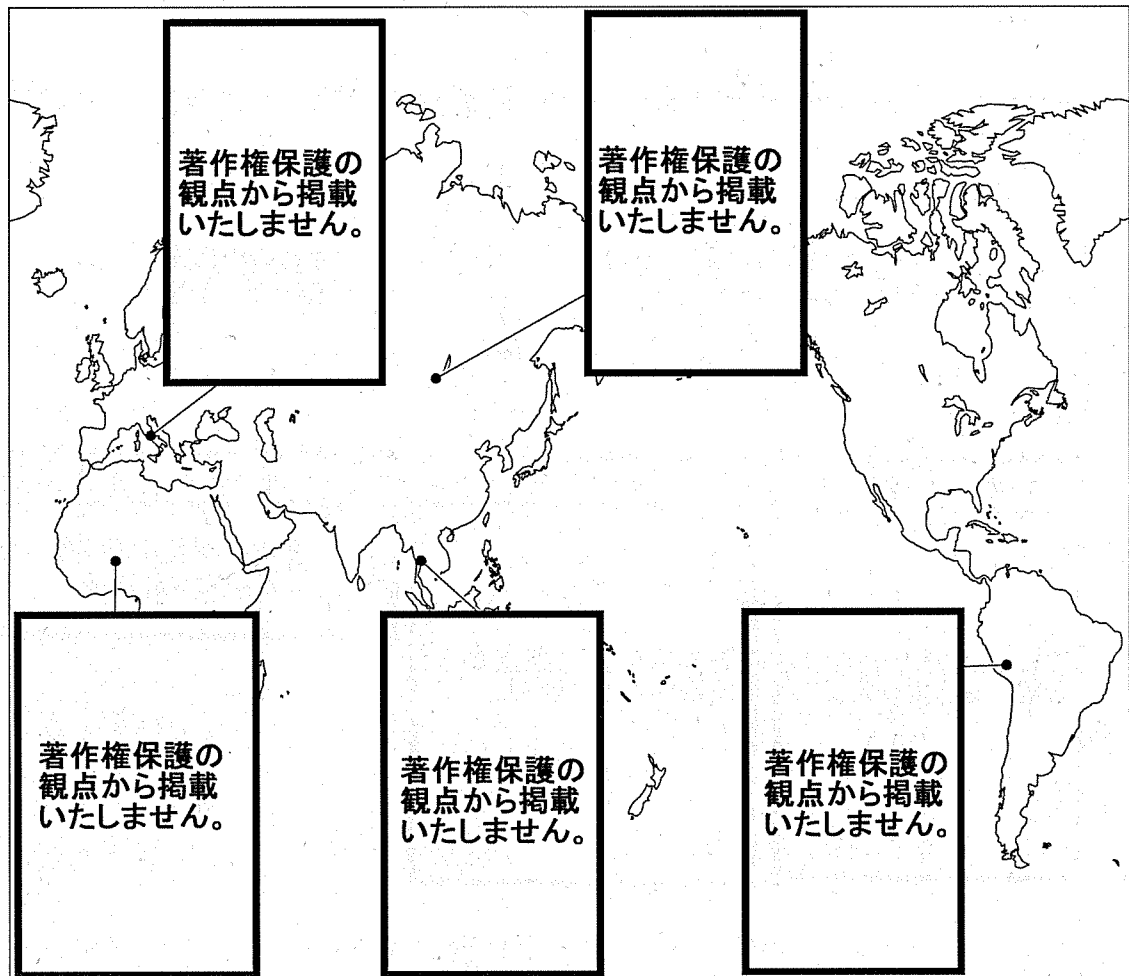


資料5 日本のマグロの輸入先と輸入額



- ① 資料1と資料2から、日本の漁業は生産量が下落傾向にあっても、その分を補うために2000年以降は輸入量と養殖量を増やして対応していることがわかる。
- ② 資料1に見られる1980年代後半以降に日本が総生産量を減らす要因の一つに、資料4にある1970年代後半の諸外国による200海里設定によって遠洋漁業が生産量を減らしたことや、環境の変化によって沖合漁業の生産量が減ったことなどがある。
- ③ 資料3から、漁業従事者の全体の就業者数が減っている点や就業者の高齢化が進んでいるという点から、漁業の持続可能性において課題があることがわかる。
- ④ 資料5から、マグロの輸入先は環太平洋地域の割合が高いが、環太平洋地域の輸入額は1700億円を超えないことがわかる。

- (2) 地図中の a～e の各地の気候について説明した記述のうち、雨温図と記述の組合せとして適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- a 地中海性気候 … 温暖であるが、冬に雨が多く降り、夏は雨が少なく乾燥するのが特徴である。
b 亜寒帯気候 … 冬季に寒さが特に厳しく、一年を通じてみると寒暖差が大きくなっていることが特徴である。
c 砂漠気候 … 一年を通じて高温で、雨がほとんど降らないことが特徴である。
d サバナ気候 … 一年を通じて高温であること、雨季と乾季の降水量の差が大きく、雨季の降水量が多いことが特徴である。
e 熱帯雨林気候 … 赤道付近に位置しており、気温が高く、降水量が多いことが特徴である。

- ① aとb ② bとd ③ aとe ④ bとc ⑤ cとe

- (3) 次の文は、神戸港について述べたものである。下線部 a～c の正誤の適切な組合せを下の①～⑤から選び、番号で答えよ。

平清盛が平安時代に a 大輪田泊 と呼ばれていた兵庫の港を整備しました。彼は b 日明貿易 を推進して大きな利益を得ました。清盛は娘を天皇の^{きざき}后にすることで力をもつと、一時的にとはいえ、1180年に平安京から c 福原京 への遷都も実現しました。ただ平氏が権力を得た期間は短く、1185年に源氏に滅ぼされました。

- ① a ○ b ○ c ○
② a × b ○ c ×
③ a ○ b ○ c ×
④ a × b × c ○
⑤ a ○ b × c ○

(4) 次の資料1～5は、日本の高度経済成長期に関するものである。これらの資料について述べた記述のうち適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

資料1 1950年代から1970年代までの経済成長率の推移 1975年まで

資料2 産業構造の転換（就業者数の割合） 1950-1980

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

資料3 GNPに占める各国割合 1960・1973

資料4 日本のエネルギー供給割合の変遷 1950-1980

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

資料5 石油価格の変動 1971-1980

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

- ① 1950年代後半から1970年代前半の高度経済成長期にも、資料1からは好況と不況を繰り返していたことがわかる。
- ② 資料2からは、1960～70年代の日本では第一次産業の就業者の割合が減り、第三次産業の就業者の割合が増えていたことがわかる。
- ③ 資料3からは、日本の1960年と1973年のGNPを比較した場合に、額が9倍程度に伸びていたことがわかる。
- ④ 資料1と4、5からは、1960～70年代の日本では、石炭から安価な石油に中心となるエネルギーが代わったことで、1980年代以降の高い経済成長が続いたことがわかる。

28

(5) 次の文は、地方公共団体のしくみと働きについて説明したものである。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 地方公共団体では、環境美化、高齢者・子どもへの施策、医療体制の整備や充実、道路・歩道の整備など住民に身近な仕事を担っている。
- ② 地方公共団体では、首長が条例を定めたり、必要な予算を決議し執行したりと主導的な役割を果たしており、地方議会に対して指導力を発揮する立場にある。
- ③ 地方公共団体においても、国政における内閣と国会の関係と同様に、地方議会が首長に不信任決議を出したり、首長が議会を解散したりすることがある。
- ④ 住民が、首長を解職したり、議会を解散させたりするには、一定数の署名を集めることで認められる住民投票での可決を経なければならない。
- ⑤ 地方自治は、住民の生活を維持・向上させるために住民の意思に基づいて進められるべきのもので、政治参加の仕方を学ぶ「民主主義の学校」と呼ばれている。

29

(6) 次の文と下の資料は、日本の金融に関するものである。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

日本では、中央銀行として日本銀行が、金融の中心的な役割を果たしている。日本銀行の役割は、私たちが使う紙幣を発行したり、政府のお金を出し入れしたり、金融機関からお金を預かったりお金を貸したりすることである。

社会全体の経済状態を景気というが、景気は常に変動し続けており、物価や雇用に影響を与える。日本銀行は物価の変動を抑え、景気の変動を安定させるために金融政策を行っている。

景気が悪くなってくると、日本銀行は、市民がお金を借りて住宅を購入したり、企業が投資をしやすくしたりするために、市中の資金を増やそうと(ア)。これが金利を下げる方向に影響を与えるようになる。これを公開市場操作(資料1)という。

また景気が過熱してくると、日本銀行はこれと反対の操作を行っている。景気が過熱してくると、インフレーションが生じる。(資料2)インフレーションは(イ)ことで、所得上昇を伴わないと市民の生活を苦しめる。

為替の変動も私たちの生活に影響する。為替は異なる通貨間での価値の比率を決める取引で、一般的に、アメリカのドルに対しては、1ドルが日本円でいくらになるかを定めるものである。(資料3)円安になると、(ウ)と言われている。急激な為替の変動は、私たちの生活に大きな影響を与えるので、政府や日本銀行が対策をとることがある。

資料1

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

資料2

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

資料3

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

	ア	イ	ウ
①	金融機関が保有する国債を 購入する	企業の利潤を減らし雇用を不 安定にする	外国製品の価格が低下し外 国製品の購入が有利になる
②	金融機関が保有する国債を 購入する	財やサービスの需要が高まり 物価が高騰する	外国製品の価格が上昇し外 国製品の購入が不利になる
③	金融機関が保有する国債を 購入する	企業の利潤を減らし雇用を不 安定にする	外国製品の価格が上昇し外 国製品の購入が不利になる
④	日本銀行が保有する国債を 売却する	財やサービスの需要が高まり 物価が高騰する	外国製品の価格が低下し外 国製品の購入が不利になる
⑤	日本銀行が保有する国債を 売却する	企業の利潤を減らし雇用を不 安定にする	外国製品の価格が上昇し外 国製品の購入が不利になる

30

(7) 次の文は、環境問題について述べたものである。(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・近年、太陽光発電などでパネルを設置することで周囲にどのような影響を与えているのか調査することが増えている。開発事業を行うときに、事業を行う者（事業者）が、その事業が計画地周辺の環境にどういった影響を与えるかを、事前に調査、予測、評価し、その結果を事業の計画に反映させることを（ア）という。
- ・日本各地で、工業廃棄物や過剰な農薬使用によって地下水や公共用水域が汚染されることがないように、（イ）について監視・調査することで対応している。
- ・日本には、変化に富む自然環境により、多くの種類の野生生物がみられます。これらを保護していくためには、それぞれの数や種類だけではなく、生物同士のつながりも考える（ウ）を守っていかねばなりません。

- ① (ア) 環境アセスメント (イ) 土壌汚染 (ウ) 生物多様性
 ② (ア) 環境アセスメント (イ) 地盤沈下 (ウ) 生物多様性
 ③ (ア) 環境アセスメント (イ) 土壌汚染 (ウ) 循環型社会
 ④ (ア) 環境マネジメント (イ) 地盤沈下 (ウ) 生物多様性
 ⑤ (ア) 環境マネジメント (イ) 土壌汚染 (ウ) 循環型社会

31

【8】 次の問いに答えよ。

(1) 次の空欄にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

(i) $\frac{2x-y}{2} - \frac{x-2y}{3} + \frac{y}{6} =$ 32

① $\frac{x+y}{3}$ ② $\frac{2x+y}{3}$ ③ $\frac{2x-y}{3}$ ④ $\frac{x+2y}{3}$ ⑤ $\frac{x-2y}{3}$

(ii) $x = \frac{\sqrt{3}+\sqrt{2}}{2}$ 、 $y = \frac{\sqrt{3}-\sqrt{2}}{2}$ のとき、 $3x^2+3y^2-6xy$ の式の値 = 33

① 3 ② 4 ③ 5 ④ 6 ⑤ 7

(2) あるマンションでは、中庭の面積の60%が子どもの遊び場で、その遊び場の30%が芝生になっている。芝生の面積が81m²であるときの中庭の面積の値として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 250m² ② 300m² ③ 350m² ④ 400m² ⑤ 450m²

34

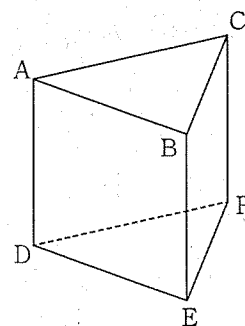
(3) 右の図は、底面積が $\sqrt{3}$ 、高さが $\sqrt{3}$ の正三角柱ABC-DEFである。このとき、以下の問いについて、それぞれ適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(i) 辺ABの長さは、35 である。

① 2 ② $2\sqrt{3}$ ③ 3 ④ $3\sqrt{3}$ ⑤ 4

(ii) △CDEの面積は、36 である。

① $\sqrt{3}$ ② 2 ③ $\sqrt{5}$ ④ $\sqrt{6}$ ⑤ $\sqrt{7}$



(4) 大小2つのサイコロを同時に投げるとき、大のサイコロが出た目を a 、小のサイコロの出た目を b とする。ただし、サイコロの1から6までの目の出る確率はすべて等しいものとする。このとき、以下の問いについて、それぞれ適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(i) $a + 2b$ の値が10以下になる場合は 37 通りである。

① 6 ② 12 ③ 18 ④ 24 ⑤ 30

(ii) $10a + b$ の値が6でわりきれれる確率は 38 である。

① $\frac{1}{3}$ ② $\frac{1}{6}$ ③ $\frac{1}{9}$ ④ $\frac{1}{12}$ ⑤ $\frac{1}{18}$

(5) さくらのさんのクラスでは、みんなが仲良くなるために、お楽しみ会をすることになった。さくらさんたちは、学級で話し合い、お楽しみ会の遊びを、なぞなぞ、ビンゴ、わなげ、伝言ゲーム、しりとりの中から2つに決めることにした。

そこで、25人の学級全員にアンケート調査をし、希望する遊びを1人に2つずつ選んでもらい、その結果を下の表にまとめた。

希望する遊び (お楽しみ会)

遊び	わなげ	なぞなぞ	ビンゴ	伝言ゲーム	しりとり	合計
票の数 (票)	17	15	11	4	3	50

(i) お楽しみ会のアンケート調査の結果から、2つの遊びを決める。

(まこと) 選んだ人がいちばん多いわなげと、その次に多いなぞなぞに決めたらどうでしょう。

(あかり) 選んだ人がいちばん多いわなげをもとに、アンケート調査の結果を整理しました。【一人ひとりが選んだ遊び】を見てください。

【一人ひとりが選んだ遊び】

	選んだ遊び	
1	わなげ	なぞなぞ
2	わなげ	なぞなぞ
3	わなげ	なぞなぞ
4	わなげ	なぞなぞ
5	わなげ	なぞなぞ
6	わなげ	なぞなぞ
7	わなげ	なぞなぞ
8	わなげ	なぞなぞ
9	わなげ	なぞなぞ
10	わなげ	なぞなぞ
11	わなげ	ビンゴ
12	わなげ	ビンゴ
13	わなげ	ビンゴ

	選んだ遊び	
14	わなげ	伝言ゲーム
15	わなげ	伝言ゲーム
16	わなげ	しりとり
17	わなげ	しりとり
18	なぞなぞ	ビンゴ
19	なぞなぞ	ビンゴ
20	なぞなぞ	ビンゴ
21	なぞなぞ	ビンゴ
22	なぞなぞ	ビンゴ
23	ビンゴ	伝言ゲーム
24	ビンゴ	伝言ゲーム
25	ビンゴ	しりとり

(あかり) わなげとなぞなぞに決めると、23番から25番の3人の希望が1つも通らないことになります。

(まいこ) わなげとなぞなぞに決めてしまうと、全員の希望が通ったことにはならないですね。

(ゆうた) 25人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることはできないかな。

(みつき) 今回のアンケート調査の結果から、25人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることができますよ。

今回のアンケート調査の結果では、25人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることができる。その2つの遊びの適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① わなげとビンゴ ② わなげと伝言ゲーム ③ わなげとしりとり
④ ビンゴと伝言ゲーム ⑤ ビンゴとしりとり

39

(ii) 遊びが決まったので、次はお楽しみ会の司会と記録をしてもらう人を決めるために、もう1度25人学級全員に右のようなアンケート調査をした。

＜お楽しみ会について＞
やってみたい役割があれば
()の中に○をつけて
ください。○はいくつつけて
もかまいません。
() 司会
() 記録

(さくら) お楽しみ会の司会と記録をしてもらう人を決めるために、アンケートをとりました。アンケートの結果はこのようなになりました。

司会に○をつけた人	…8人
記録に○をつけた人	…12人
どちらも○をつけなかった人	…10人

このとき、下の空欄にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

・両方とも希望した人は 人である。

① 3 ② 4 ③ 5 ④ 6 ⑤ 7

・記録は希望したが司会は希望していない人は 人である。

① 3 ② 4 ③ 5 ④ 6 ⑤ 7

・ひとつでも () に○をつけた人は学級全体の人数の %である。

① 32 ② 40 ③ 48 ④ 60 ⑤ 80

【9】 次の問いに答えよ。

- (1) Aさんは、「運動をする物体の時間と移動距離の関係はどのようなものだろうか」という問題を解決したいと考えた。そのため、図1のような台車を用いて、台車を手でたたくように軽く押して進ませ、記録タイマーで運動を記録する実験を行った。

図1

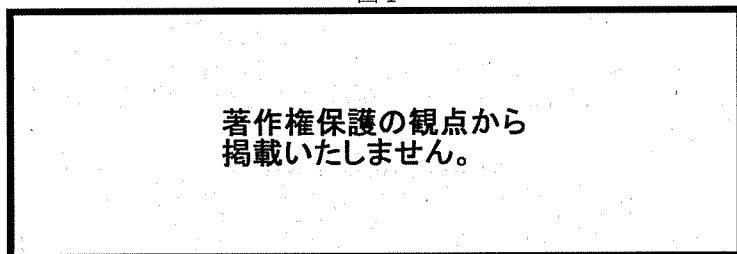
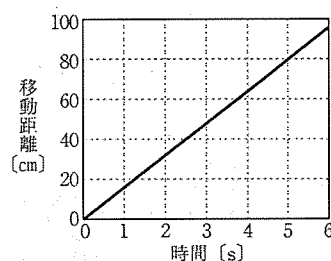
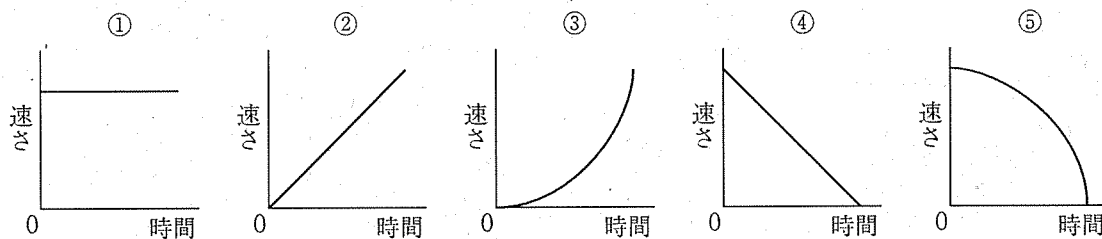


図2



実験により、時間と移動距離が図2のようなグラフとなったとき、この台車の運動の時間と速さの関係を表したグラフとして、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



43

- (2) 次の図1と図2は、複数の豆電球（抵抗）を直列や並列につないだ回路図を示したものである。回路を流れる電流 I_2 及び電圧 V_1 として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

図1

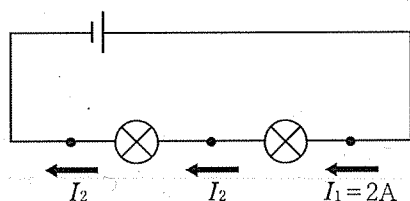
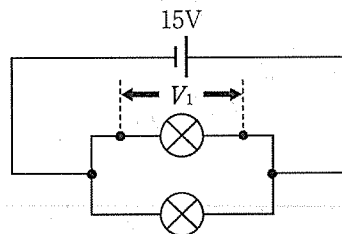


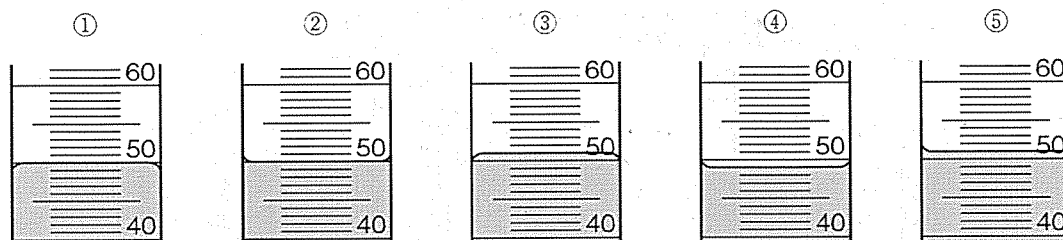
図2



- | | | |
|---|--|--|
| ① $I_2 = 2\text{ A}$ $V_1 = 7.5\text{ V}$ | ② $I_2 = 2\text{ A}$ $V_1 = 15\text{ V}$ | ③ $I_2 = 2\text{ A}$ $V_1 = 20\text{ V}$ |
| ④ $I_2 = 1\text{ A}$ $V_1 = 7.5\text{ V}$ | ⑤ $I_2 = 1\text{ A}$ $V_1 = 15\text{ V}$ | |

44

(3) Aさんは、「一定の量の水にものがとける量には限りがあるのだろうか」という問題を解決するために、100mLのメスシリンダーで水50mLをはかりとった。このときの液面の見え方として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



45

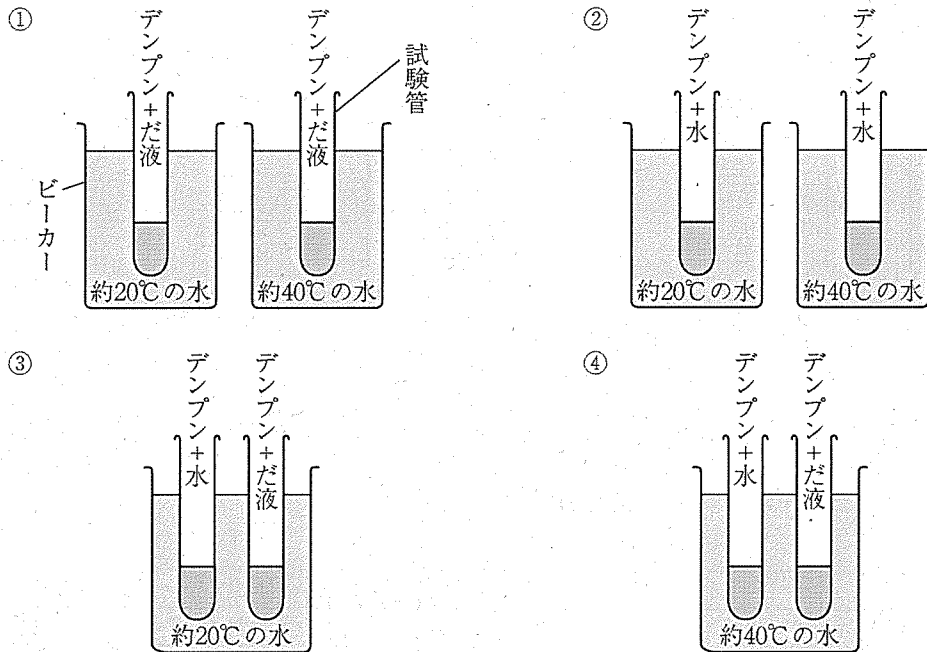
(4) Aさんは、「いくつかの気体を実験によって発生させ、その気体の性質を調べたい」と思った。そのため、下の表のように、4つの気体を発生させ、気体とその性質についてまとめた。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	酸素	二酸化炭素	水素	アンモニア
におい	(ア)	無臭	無臭	特有の刺激臭
空気の密度と比べて (20℃)	大きい	(イ)	小さい	小さい
気体の集め方	水上置換法	水上置換法 下方置換法	水上置換法 (ウ)	(ウ)

- ① (ア) 特有の刺激臭 (イ) 小さい (ウ) 上方置換法
 ② (ア) 無臭 (イ) 小さい (ウ) 上方置換法
 ③ (ア) 無臭 (イ) 大きい (ウ) 下方置換法
 ④ (ア) 無臭 (イ) 大きい (ウ) 上方置換法
 ⑤ (ア) 特有の刺激臭 (イ) 大きい (ウ) 下方置換法

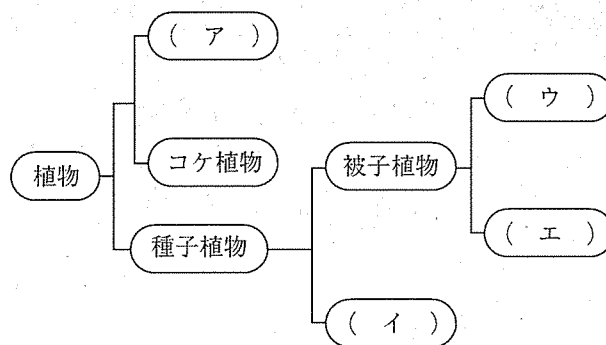
46

(5) Aさんは「食べ物に含まれるデンプンは、だ液によって別の物に変化するのだろうか」という人の体のはたらきに関する問題を解決するために、実験を計画した。計画として適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。



47

(6) 次の図は、植物のなかま分けについてまとめたものである。(ア)～(エ)の分類にあてはまる植物の適切な種名の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

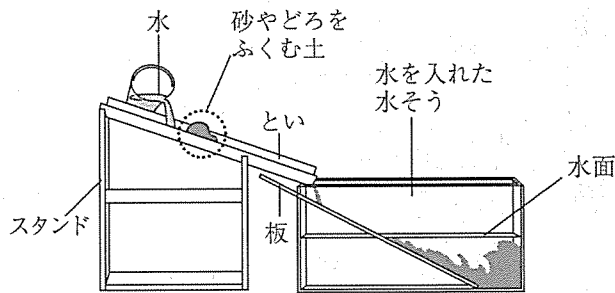


- | | | | |
|--------------|----------|---------|----------|
| ① (ア) トウモロコシ | (イ) タンポポ | (ウ) サクラ | (エ) アサガオ |
| ② (ア) トウモロコシ | (イ) タンポポ | (ウ) バラ | (エ) アサガオ |
| ③ (ア) イヌワラビ | (イ) タンポポ | (ウ) サクラ | (エ) ユリ |
| ④ (ア) イヌワラビ | (イ) マツ | (ウ) バラ | (エ) アサガオ |
| ⑤ (ア) イヌワラビ | (イ) マツ | (ウ) サクラ | (エ) ユリ |

48

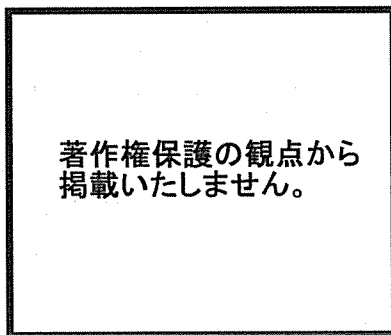
(7) 流れる水のはたらきによって、地層がどのようにしてできるかを調べるため、以下の図のような実験を実施した。

実験の様子

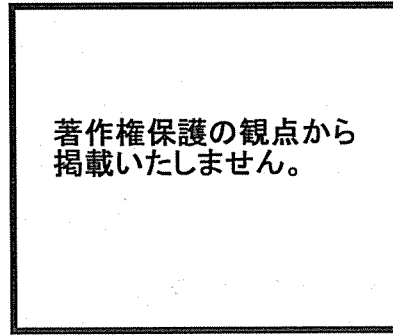


水で土を2回流し込んだ後の様子は以下のとおりである。

1回目の土を流し込んだ後の様子



しばらくしてから2回目の土を流し込んだ後の様子

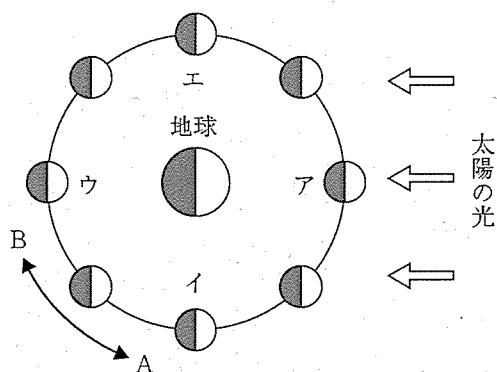


この実験結果から地層のでき方について次のa～dの4つの考察のうち、適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- a 水のはたらきで土が運搬されると、粒の大きさがちがう土の粒などが層になって堆積する。
- b 土の粒の大きさは、どろ、砂の順に大きい。
- c 1回流し込むと、大きい粒の物の上に、小さい粒の物が積み重なっていた。
- d 土を2回流し込んだら、二組の層ができた。

- ① a b
- ② a b c d
- ③ a c d
- ④ b c
- ⑤ b c d

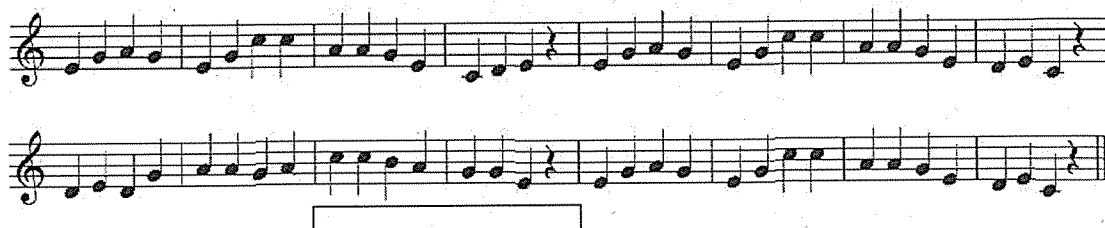
(8) 日本のある場所で月の観測を行った。下の図は、地球の北極側から見た月の公転の様子を表した模式図である。月の公転の向きと半月（上弦の月）が見える月の位置の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



	月の公転の向き	半月（上弦の月）が見える月の位置
①	A	— ア
②	A	— イ
③	A	— エ
④	B	— イ
⑤	B	— エ

【10】 次の問いに答えよ。

(1) 次の楽譜について (ア) ～ (オ) の問いに答えよ。



(ア) この曲の曲名を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 春がきた ② 虫のこえ ③ ふるさと ④ 春の小川 ⑤ もみじ

51

(イ) この曲の作詞者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 船橋栄吉 ② 高野辰之 ③ 中村雨紅 ④ 林 柳波 ⑤ 葛原しげる

52

(ウ) この曲は何分の何拍子か。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 4分の2拍子 ② 4分の3拍子 ③ 4分の4拍子
④ 8分の3拍子 ⑤ 8分の6拍子

53

(エ) (第11～12小節) に入る2番の歌詞を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① こぶなの むれに ② れんげの はなに
③ いろ うつくしく ④ きょうも いちにち
⑤ ひなたで およぎ

54

(オ) この楽譜を用いて指導するのに適さない「音楽を形づくっている要素」を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 音色 ② 音の重なり ③ 強弱 ④ 音階 ⑤ リズム

55

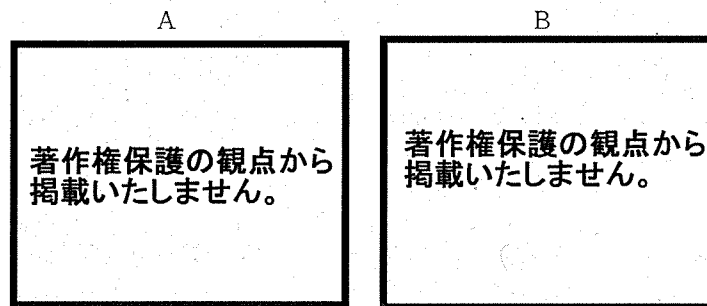
(2) 次の楽譜で4拍にならない小節を①～⑤から選び、番号で答えよ。



56

(3) 器楽の指導に関する(ア)、(イ)の問いに答えよ。

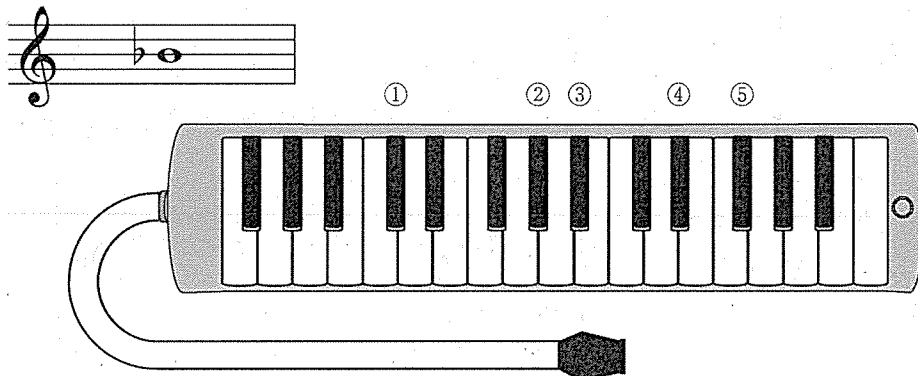
(ア) イラストA、Bの楽器名の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- | | |
|-------------|--------|
| ① A カバサ | B コンガ |
| ② A カバサ | B ボンゴ |
| ③ A ウッドブロック | B ボンゴ |
| ④ A ギロ | B アゴゴー |
| ⑤ A ギロ | B コンガ |

57

(イ) 次の音の鍵盤を①～⑤から選び、番号で答えよ。



58

SHO (44 - 34)

【11】 次の問いに答えよ。

「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(平成29年告示 文部科学省)における「図画工作」の目標に関する記述である。(ア)～(エ)にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

第1節 図画工作科の目標

1 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の(ア)などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の(イ)や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や(ウ)をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな(エ)を培う。

- (ア) ① 表現や作品 ② 美術や工芸 ③ デザインや造形 ④ 自然物や人工物
⑤ 形や色

59

- (イ) ① 体験 ② 感覚 ③ 知識 ④ 技能
⑤ 思考

60

- (ウ) ① 構想 ② 計画 ③ 試行 ④ イメージ
⑤ 製作

61

- (エ) ① 創造性 ② 感情 ③ 情操 ④ 表現力
⑤ 人間性

62

【12】「小学校学習指導要領解説 体育編」（平成29年7月 文部科学省）について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文章は、「第1章 総説 2 体育科改訂の趣旨及び要点 (2) 体育科改訂の要点 ウ 内容及び内容の取扱いの改善」の「(ウ) 運動やスポーツとの多様な関わりを重視した内容の改善」の抜粋である。
(ア) ～ (ウ) にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(ア) の実現を重視し、スポーツとの多様な関わり方を楽しむことができるようにする観点から、体力や技能の程度、年齢や性別及び (イ) 等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方や関わり方を共有することができるよう、(ウ) の視点を踏まえて指導内容を示すこととした。

- | | | |
|------------------|-------------|-----------|
| ① (ア) 豊かなスポーツライフ | (イ) 過去の運動経験 | (ウ) 責任・参画 |
| ② (ア) 運動の習慣化 | (イ) 障害の有無 | (ウ) 共生 |
| ③ (ア) 豊かなスポーツライフ | (イ) 過去の運動経験 | (ウ) 共生 |
| ④ (ア) 運動の習慣化 | (イ) 過去の運動経験 | (ウ) 責任・参画 |
| ⑤ (ア) 豊かなスポーツライフ | (イ) 障害の有無 | (ウ) 共生 |

63

- (2) 次の文章は、「第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 1・目標」の解説文の抜粋である。(ア) ～ (ウ) にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

各種の運動遊びとは、児童の発達の段階を踏まえ、ねらいとする動きを (ア) の要素を取り入れて行うものであり、児童が成功体験を得やすいように (イ)、場や用具等が緩和された体づくりの運動遊び、器械・器具を使つての運動遊び、(ウ)、水遊び、ゲーム及び表現リズム遊びを指す。

- | | | |
|------------|------------|---------------|
| ① (ア) 体力向上 | (イ) 課題やルール | (ウ) 走・跳の運動遊び |
| ② (ア) 遊び | (イ) 運動の楽しさ | (ウ) 陸上競技の運動遊び |
| ③ (ア) 遊び | (イ) 課題やルール | (ウ) 走・跳の運動遊び |
| ④ (ア) 体力向上 | (イ) 運動の楽しさ | (ウ) 陸上競技の運動遊び |
| ⑤ (ア) 遊び | (イ) 運動の楽しさ | (ウ) 走・跳の運動遊び |

64

- (3) 次の文章は、「第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容 C 陸上運動 (1) 知識及び技能 エ 走り高跳び」に記されている運動が苦手な児童への配慮の例である。(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・リズムカルな助走から踏み切ることが苦手な児童には、(ア)程度の短い助走での走り高跳びや(イ)などの台から踏み切る場などで、力強く踏み切って体が浮くことを経験できるようにしたり、「トン・トン・ト・ト・トン」など、(ウ)を声に出しながら踏み切る場を設定したりするなどの配慮をする。

- ① (ア) 3～5歩 (イ) 跳び箱 (ウ) 一定のリズム
- ② (ア) 7～9歩 (イ) 平均台 (ウ) 一定のリズム
- ③ (ア) 7～9歩 (イ) 跳び箱 (ウ) 一定のリズム
- ④ (ア) 3～5歩 (イ) 平均台 (ウ) ゆったりとした助走のこつ
- ⑤ (ア) 3～5歩 (イ) 跳び箱 (ウ) ゆったりとした助走のこつ

【13】 次の問いに答えよ。

(1) お茶の種類とそれに適した湯の温度として適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

	お茶の種類				
	せん茶	番茶	抹茶	ほうじ茶	玉露
①	80℃ 前後	100℃	80℃ 前後	80℃ 前後	80℃ 前後
②	100℃	80℃ 前後	60℃ 前後	100℃	40℃ 前後
③	100℃	80℃ 前後	80℃ 前後	80℃ 前後	60℃ 前後
④	80℃ 前後	100℃	60℃ 前後	100℃	80℃ 前後
⑤	80℃ 前後	100℃	80℃ 前後	100℃	60℃ 前後

66

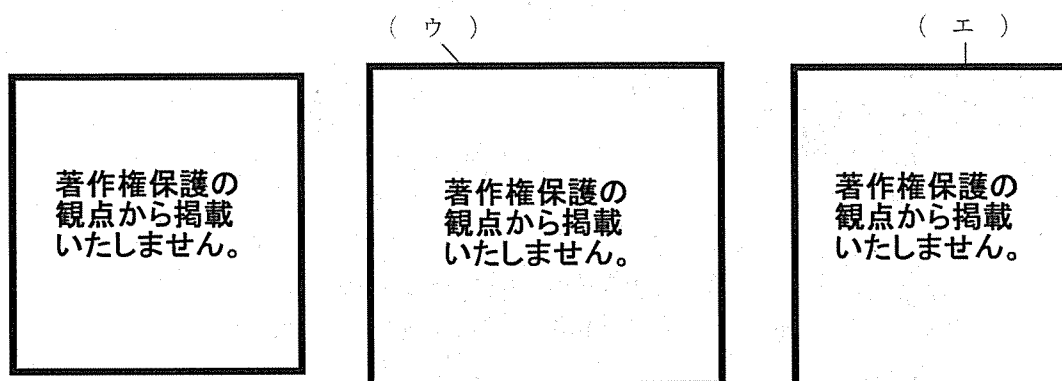
(2) 次のゆでいもの調理について述べた文のうち、正しいものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- (ア) ためた水に入れ、よくこすって、流水で土などを洗い落とす。
- (イ) 包丁の切っ先を使って芽を取り、大きさをそろえて切る。
- (ウ) 鍋にたっぷりの水を入れて、ふたをして強火にかける。
- (エ) ふっとうしたらふっとうが続くくらいに火を弱める。
- (オ) 竹ぐしを通るようにになったらざるに移す。

- ① (ア) (イ) (エ) (オ)
- ② (ア) (ウ) (エ) (オ)
- ③ (ア) (エ) (オ)
- ④ (イ) (ウ) (エ)
- ⑤ (イ) (ウ)

67

(3) 下の(ア)～(エ)の名称として適切な組合せを①～⑥から選び、番号で答えよ。



	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
①	うだつ	ひさし	よしず	すだれ
②	のき	ひさし	すだれ	よしず
③	のき	うだつ	よしず	すだれ
④	うだつ	のき	すだれ	よしず
⑤	ひさし	のき	すだれ	よしず
⑥	ひさし	のき	よしず	すだれ

68

(4) 次に示す条件でマイバッグを製作する場合、必要な布地のたての長さとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。(本体のみの寸法を考えること。持ち手やポケットなどの寸法は含まない。)

・入れたいものの大きさ たて 30cm よこ 25cm
 ・ぬいしろ たて 6cm よこ 2cm
 ・ゆとり たて 5cm よこ 6cm

- ① $30+25+6+2+5+6=74\text{cm}$
 ② $(30+5)\times 2=70\text{cm}$
 ③ $(30+6+5+6)\times 2=94\text{cm}$
 ④ $(30+6+5)\times 2=82\text{cm}$
 ⑤ $30+6+5=41\text{cm}$

69

【14】 小学校における外国語・外国語活動に関する次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年告示 文部科学省)「第4章 外国語活動 第1 目標」について示している。(ア)～(オ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの(ア)を通して、コミュニケーションを図る(イ)となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語を通して、言語や文化について(ウ)理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや(エ)などを伝え合う力の(イ)を養う。
- (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、(オ)しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

- | | | | | |
|------------|--------|----------|---------|-----------|
| ① (ア) 言語活動 | (イ) 基礎 | (ウ) 体験的に | (エ) 気持ち | (オ) 相手に配慮 |
| ② (ア) 学習活動 | (イ) 基礎 | (ウ) 経験的に | (エ) 気持ち | (オ) 相互に交流 |
| ③ (ア) 学習活動 | (イ) 基礎 | (ウ) 経験的に | (エ) 関心 | (オ) 相手に配慮 |
| ④ (ア) 言語活動 | (イ) 素地 | (ウ) 体験的に | (エ) 関心 | (オ) 相互に交流 |
| ⑤ (ア) 言語活動 | (イ) 素地 | (ウ) 体験的に | (エ) 気持ち | (オ) 相手に配慮 |

(2) 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年告示 文部科学省)の「第2章 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標」について示している。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
- ② 活字体で書かれた文章を識別し、その読み方に慣れ親しむことができるようにする。
- ③ 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。
- ④ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
- ⑤ 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

71

【15】英文を読んで、次の問いに答えよ。

(1) Read the following dialogue and answer the question below.

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(Question) Choose the appropriate sentence for (a) from the five sentences below.

- ① When does it work?
- ② Where does it work?
- ③ Which is it?
- ④ How does it work?
- ⑤ Let's give it a try.

72

(2) Read the following passage and answer the question below.

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(Question) Choose the statement which best corresponds to the above passage.

- ① Students deeply understand the value of *kyushoku*.
- ② The Japanese *kyushoku* system provides students with a chance to improve their social skills.
- ③ Students start eating *kyushoku* immediately after being served.
- ④ *Kyushoku* and *shokuiku* do not fit well together in the school curriculum.

(3) Read the following passage and answer the questions below.

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(ア) Choose the appropriate word for (A) from the words below.

- ① anxiety
- ② performance
- ③ preparation
- ④ progress

(イ) Choose the appropriate word for (B) from the words below.

- ① per
- ② until
- ③ or
- ④ before

75

(ウ) Choose the most appropriate place from the spaces ① ~ ④ for the following sentence.

Six or seven storybooks can be worked on throughout a school year.

76

(エ) Choose the appropriate title that fits with the passage above.

- ① Authentic Storybooks
- ② The Organization of a Book Corner
- ③ Types of Storybooks
- ④ The Usage of Storybooks

77

小学校

正答・配点一覧表

問番号	解答番号	正答	配点
【1】(1)	1	②	2
(2)	2	④	2
(3)	3	①	2
【2】(1)	4	⑤	2
(2)	5	②	2
(3)	6	③	2
【3】(一)	7	④	1
(二)	8	③	1
(三)	9	④	1
(四)	10	⑤	1
(五)	11	②	2
【4】(一)	12	①	1
(二)	13	③	1
(三)	14	④	1
(四)	15	①	1
【5】(一)	16	②	1
(二)	17	⑤	1
(三)	18	④	1
【6】(一)	19	④ (順不同)	1点 (完答)
	20	③ (順不同)	
(二) i	21	③	1
ii	22	③	2
iii	23	①	2
iv	24	②	1
【7】(1)	25	①	2
(2)	26	⑤	2
(3)	27	⑤	2
(4)	28	④	2
(5)	29	②	2
(6)	30	②	2

(7)	31	①	2
【 8 】 (1) (i)	32	②	2
(ii)	33	④	2
(2)	34	⑤	2
(3) (i)	35	①	2
(ii)	36	④	2
(4) (i)	37	③	1
(ii)	38	②	2
(5) (i)	39	①	1
(ii)	40	③	2
	41	⑤	2
	42	④	2
【 9 】 (1)	43	①	2
(2)	44	②	2
(3)	45	②	2
(4)	46	④	2
(5)	47	④	2
(6)	48	⑤	2
(7)	49	③	1
(8)	50	③	1
【10】 (1) ア	51	④	1
イ	52	②	1
ウ	53	③	1
エ	54	⑤	1
オ	55	②	1
(2)	56	④	1
(3) ア	57	①	1
イ	58	③	1
【11】 ア	59	⑤	2
イ	60	②	2
ウ	61	①	2
エ	62	③	2
【12】 (1)	63	⑤	3
(2)	64	③	3

(3)	65	①	2
【13】 (1)	66	⑤	2
(2)	67	③	2
(3)	68	②	2
(4)	69	④	2
【14】 (1)	70	⑤	1
(2)	71	②	1
【15】 (1)	72	④	1
(2)	73	②	1
(3) ア	74	③	1
イ	75	①	1
ウ	76	④	1
エ	77	④	1